



町長室だより

築上町長 新川 久三



菜の花が咲き誇り、やがて桜の花の満開の季節となり、春爛漫の今日この頃です。

第一回築上町議会定例会閉会

3月22日に町議会定例会最終日を迎え、提案した40議案すべて議員の活発な審議を経て可決されました。一般会計予算は95億4千8百80万円です。前年に比べ、旧築上町役場跡地に建設のコミュニティセンター施設の完成、また光通信施設設置負担金等の大きな出費がなくなつたため、11.8%の緊縮予算となっております。しかし、全体的には子育て支援、健康対策等住民生活の向上を行うための予算となっております。

元気な高齢者（末次さん、進さん、長竹さん）紹介

3月9日、ふれあい健康サロン合同祭が中央公民館で開催されました。この健康サロンは旧築上町から実施されていたもので、住民の健康対策には非常に良い制度として、合併後に椎田地区でも普及を行い、半数以上の自治会で公民館を利用してサロンを開設しています。そして、サロン実施の全自治会の参加のもと、実行委員会を組織して毎年度合同祭を行います。本年のテーマでは、元気な高齢者3名の紹介がありました。最初に赤幡自治会の98歳の末次アヤさんの紹介がありました。末次さんは「別に長寿の秘訣はありません」とのことですが、畑で野菜を作つて東京の子どもさんに送るのが楽

しめで、取れたての野菜を子どもさんの近所の方にもお裾分けできるように多く送るそうです。次に船迫自治会の91歳の進渡さんです。進さんも現在野菜作りを楽しみにしているそうです。

もう一人の方は、安武第四自治会の93歳の長竹美枝子さんです。

長竹さんは今でも近所の子どもさんや福祉施設の入所者に習字を教えているそうです。また畑の草取りもしているそうです。

3名とも共通点は畑仕事をしていること。そして話し方がしっかりしていること。非常に元気に毎日を過ごしているそうです。

3月21日、最高裁判所の判決 築上町勝訴

船田地区集会所を解体して歩道設置を行うため、県が買収した金額の一部を事実上所有者の部落開放同盟豊築地区協議会と町が交わした協定書は有効な契約であり、町が移転補償費を協議会に支払ったことは適法な行為という判決です。町を訴えた方たちの言い分を

一部認められた地方裁判所、高等裁判所の判決は最高裁判所の担当裁判官5人全員的一致意見で取り消された逆転判決です。

4月18日（木） 旧蔵内邸 一般公開始まる

国登録文化財の旧蔵内邸の一般公開が始まります。町民の皆様のを来館をお待ちしています。この蔵内邸の文化財としての価値は一級品です。仏間等の壁紙には金唐草紙が用いられ、これは国内では国会議事堂や鹿鳴館等数箇所にしかないもので、一見の価値があります。また、建物は良質材を使つて見栄えのするものです。この素晴らしさを町外の皆様に宣伝していただければ有難いです。よろしくお願ひします。

町民の皆様には気候が良くなり、活動の場が多くなると思います。くれぐれも健康に留意してご自愛のほどよろしくお願ひします。